

石狩川流域委員会（第15回） 議事要旨

■日 時：令和4年5月27日（金曜）10:00～12:00

■場 所：北海道開発局研修センター 1階会議室

■出席者：黒木委員長、中村副委員長、井上委員、上田委員、片石委員、定池委員、清水委員、山田委員（以上8名）

■議題

- (1) 前回の流域委員会の意見について
- (2) 雨竜川河川整備計画（変更）について

■議事要旨

- (1) 前回の流域委員会の意見について

・ 特段意見なし。

- (2) 雨竜川河川整備計画（変更）について

- ・ 資料3 変更原案 P53の魚類等の移動の連続性というタイトルで、カワヤツメの記載があるが横断工作物に魚道を設置することで移動の連続性は解消されるという理解で良いか。（委員長）
- ・ カワヤツメについては雨竜川と石狩川の合流点付近が重要な生息域となっており、カワヤツメと頭首工等に係る配慮は関係ないと思うが、他の魚類等については有効な手段であると思う。（委員）
 - タイトルについて、「移動の連続性」に限るのではなく「生息環境への配慮」が適切と考え、修正したい。（事務局）
- ・ 流域治水の基本的な考え方や雨竜川としての取り組み内容等について、一連としてまとめて記載しても良いのではないか。（委員）
 - 流域治水に限らず、河川整備計画の章立てとして、「河川整備計画の目標に関する事項」「河川整備の実施に関する事項」に分けて記載していることから、現状の記載とさせていただきたい。（事務局）
- ・ 事前放流の話などで予測技術が焦点になっているが、予測技術向上のためには、ダムの上流域を含めた観測の充実化が重要であることから、その旨記載いただきたい。（委員）
 - 記載内容等検討したい。（事務局）

- ・資料3 変更原案 P70 の渇水への対応に記載の気候変動等の対策に関する文章について、具体的な内容を確認したい。(委員)
→気候変動により、雨の増加だけでなく、雨が降らない日も増加が予想されていることから記載したが、改めて文章表現について検討したい。(事務局)
- ・資料3 変更原案 P36 のグリーンインフラの記載について、雨竜川流域におけるグリーンインフラがイメージできるよう工夫してほしい。(委員)
→具体的なイメージが持てるように、工夫したい。(事務局)
- ・資料3 変更原案 P53 の魚類等の移動の連続性に関する文章について、朱鞠内湖にはイトウ等の独自の生態系が保たれていると記載があるのに、「このため」下流の横断工作物について移動の連続性に配慮するという表現は修正して頂きたい。(委員)
→記載箇所を精査し、修正したい。(事務局)
- ・資料3 変更原案 P56 のかわまちづくり、かわたびについて、こんな風に川の利用ができるんだとイメージできるように具体的な事例・写真があれば、入れて頂ければ良いと思う。(委員)
→良い事例があれば、追加したい。(事務局)
- ・「避難」という言葉の使い方で、避難の対象者が住民のみの場合と住民に加えて来訪者の視点がある記述が混在しているため、整理が必要と思われる。(委員)
→記載箇所を精査し、修正したい。(事務局)
- ・資料3 変更原案 P68 の北海道胆振東部地震に関して、被害の大きい被災地に関する記述と雨竜川に関する記述の区別がつきにくいいため、区別できるよう書き分けてはどうか。(委員)
→記載箇所を精査し、修正したい。(事務局)
- ・資料3 変更原案 P49 の水害リスクの共有をどういう形で実現しようとしているのか、水害リスクの定義や手法について具体的な内容を記載したほうがいい。(委員)
→記載箇所を精査し、修正したい。(事務局)